



おおくす

福平小学校だより
7月号
平成30年7月20日発行

あいさつは みんなでかわそう にこにこと 4年 大脇 陽菜

自分たちの手で 学校をよりよく

上学年児童が、福平小をよりよくするにはどうすればよいかを、児童総会（6/20）で話し合いました。ボランティア活動の具体的な取組等、積極的に手を挙げて発言する様子が見られました。



大きな砂場アート

吹上浜にある南薩少年自然の家で7/10～11に谷山地区特別支援学級合同宿泊学習が行われました。本校からは、4・6年生12人が参加しました。サンドアートやレクリエーションを通して、仲間づくりに取り組みました。お友達と協力してすてきな砂像を制作しました。

先生も勉強しています



今求められる教育の在り方や学力を身に付けさせるための指導技術（シグソー法）について、授業を通して研修を行っています。先生も子どもたちのためにがんばっています！

とっても身近な コンサート開催



7/13（金）の昼休みに、体育館で吹奏楽部のミニコンサートが開かれました。アニメの主題歌など子どもになじみのある曲を中心に日頃の練習の成果を発表しました。友達が奏でる演奏を笑顔で楽しみました。

新教科「道徳」

子どもたちの豊かな心をはぐくむために、これまでも取り組んできた道徳の授業。今年4月からは、より確かに実践へ向かう気持ちを高めるために、「特別の教科 道徳」となりました。本校では年度末に通知表でその学習や道徳性に係る成長の様子をお伝えすることにしています。

子どもたちが葛藤を乗り越えて、正しく強い心をもてるように、ご家族や地域の皆様の応援をお願いします。

万が一に備えて



大阪での悲しい事故を受けて本校でも緊急点検を実施しました。校内の高いブロック塀については建築基準を満たしていることが分かりました。

みなさんのご自宅周辺や通学路についてはいかがでしょうか。危険箇所には早めの対応をお願いします。

【コラム】 夢を育み、挑戦する夏休みに

大会前の予想を覆す健闘を見せたロシアワールドカップでの日本代表。その中でも、第1戦のコロンビア戦で決勝ゴールを決めた我が郷土出身の大迫勇也選手の大活躍に胸躍らせ、睡眠不足となった方も多かったことだろう。

コロンビア戦終了後のインタビューで、大迫選手は「本当に昔からの目標だったので……ワールドカップでゴールを決めることが。願いが叶った。夢だった。最高です。みんなの力です。」と語った。歓喜と感動をありがたいの思いでこのインタビューを聴きながら思ったのが、『夢・目標をもち、叶えるための努力を続けること』のすばらしさである。類い稀なる才能があったのは確かとしても、それを生かすために積み重ねた並々ならぬ努力があったからこそそのゴールだったろう。サッカーを愛する子どもたちはもちろん、夢をもち努力を重ねているすべての子どもたちに大きな勇気を与えたに違いない。

かつて大迫少年もワールドカップでゴールを決めるという夢に向かってボールを蹴り続けたであろう夏休みがやってくる。今年は、44日間の夏休みである。夢を描き、育み、挑戦するには足りないかもしれないが、じっくり自分の夢や目標を考えることのできる時間ではある。未来に向かう子どもたちにとって、夢・目標は大切である。それがあから頑張れる。親子で、ぜひ将来について語り合ってほしい。



ようこそ! ふるさと先生



キャリア教育の一環として、5・6年生が講演を聞きました。今年は、県内で長く水泳を指導されている方をお招きしました。目標を達成するためには力強い挨拶や正直な心が大切だと学びました。一人一人が自分の夢について考える機会となりました。



8月の行事予定

- ☆ 人権同和問題啓発強調月間
- 1日(水) 出校日
- スクールゾーン委員会
- 4日(土) あいご南部ブロック大会
- 11日(土)~17日(金)
- リフレッシュウィーク
- 18日(土) 仲よし運動会
- 21日(火) 出校日
- 26日(日) PTA愛校作業

学校ホームページが 生まれ変わりました

<https://www2.keinet.com/fukuhis/>

福平っ子のがんばりや学校の様子を
インターネットでぜひごらんください!